

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	08078-1	施設整備費(交通安全施設費)	室名	維持修繕室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	06:地域安全の充実	務	款 土木費
施策体系	施策の方向	02:交通安全の確保	科	項 道路橋梁費
	戦略プロジェクト		目	目 交通安全施設費

②目的・概要	対象	市民
	目的	道路における交通環境の改善を行うとともに、交通事故の防止を図り、あわせて交通の円滑化に資することを目的とする。
概要	各自治会からの要望のほかに、児童の通学路での登下校中における交通事故が多発しているため、市内全ての小学校の通学路を対象に教育委員会と公安委員会(亀山警察署)が連携して、緊急合同点検を実施し、その点検結果による対策必要箇所について対応している。	

		27年度	28年度
①	名称	改善箇所数	計画値
	補足	要望箇所のうち改善が図れた箇所数	実績値
②	名称		計画値
	補足		実績値
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績	<ul style="list-style-type: none"> *カーブミラー設置 *ガードレール設置 *転落防止柵設置 *区画線設置(外側線) *区画線設置(文字) *標識設置 *照明灯設置 				総人件費	①	2,929	平均給与額×③
					一般職員人件費	②	2,929	
					所要人員	③	0.40	
					臨時職員人件費	④		
					受益者負担額	⑤		
					受益者負担率		0.0%	⑤ / ⑥
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費			
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
その他								
一般財源		28,695	28,695					
再掲	翌年度への繰越額							
	前年度からの繰越額							
	総人件費		①	2,929				
	総コスト		⑥	31,624				

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	<p>走行車両や歩行者の安全確保を図ることを目的に、自治会要望や道路パトロールで気づいた危険箇所など、道路施設を整備することで改善に努めた。具体的な対策としては、ガードレール設置、カーブミラー設置、区画線設置などを実施している。整備箇所については優先度を判断し施工することで、交通事故防止にもつながっているものと考えている。また、毎年、通学路において小中学生の安全確保として、PTA、教育委員会、亀山警察署、三重県らと連携し、緊急合同点検も実施しており、それぞれの安全対策事項が把握でき共通認識が保たれている。</p>	<p>A</p> <p>順調に進んだ</p>

【反省点・課題】
 財政的な課題からすべての要望を改善するには至っておらず、未対策箇所が残るが、現場条件を把握して危険性、緊急性など総合的に優先度を判断して順次工事を進めていく必要がある。

【改善の方向性】
 PTA、自治会、教育委員会、公安委員会(亀山警察署)ら関係者と意見交換を行いながら、現場条件を把握したうえで効果のある対策を選定して、安心・安全なまちづくりを目指し事業実施に努めていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 維持修繕室長 松尾敏
--------------	---------	---------------------